

マチノー・ヒョーゴ ～ まちの農業 ～

まちのすぐ隣にある農業を、 もっと身近に、もっとおもしろく。 農地は、地域のキャンパスだ。

「農業」というと、なぜか遠くのここのように思える。

私たちは日々農作物をいただき、自らの身体を作り、味わっているはずなのに。

農業。実は「まち」のすぐ隣にある。

いつもの道の先に。いつもの景色の中に。

そして、そこで育まれるのは作物だけではない。

季節への気づき、食べものへの理解、親しい人との楽しい時間…

農業は作物といっしょに、そんな、目には見えない豊かさをも育んでいる。

農業。実は「まち」のすぐ隣にある。

日常と、ちょっとした非日常の中に

変化する地球があって、農作物といういのちがあって、

それを育む人のいのちがあって、それをいただく人のいのちがある。

農業は「まち」のすぐ隣にある。

だから、もっと身近に。もっとおもしろがる。

農地は、地域のキャンパスだ。